環境経営レポート

求められる会社　求められる人

東海土木

TOKAIDOBOKU

レポート対象期間　２０２３年２月―２０２４年１月

発行日　２０２４年２月２８日

目　　次

1　基本理念・環境経営方針　1

2　組織の概要及び事業規模　2

3　実施体制　3

4　環境への負荷と取組状況　4

5　環境経営目標　5

6　環境経営計画　6

7　環境経営目標の実績と評価　7

8　環境経営計画の取組と評価　11

9　環境関連法規の遵守状況　14

10　代表者による全体評価と見直し　15

基本理念

株式会社東海土木は、土木工事業を営む会社として、自然環境を保護するため、日ごろの事業活動の中で環境保全に積極的に取り組み、社会に貢献します。

基本方針

当社は、基本理念に基づき、環境負荷を軽減し環境に配慮した活動の中で、次項の実行により環境経営の継続的な改善に努めます。

1　環境に配慮したお客様への提案・施工に努めます。

2　省エネルギー・リサイクル活動・環境保全活動を推進し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水利用量の削減及びグリーン購入の推進に努めます。

3　環境関連法規制等を遵守します。

4　社員・協力会社と共に環境保全に関する意識を高め、全員参加で取組みます。

制定日　　平成23年11月1日

東海土木
TOKAIDOBOKU

代表取締役　古橋　弘光

組織の概要	
会　社　名	株式会社　東海土木 HP　https：//www.toukai-doboku.com
代　表　者	代表取締役　古橋弘光
所　在　地	静岡県浜松市中央区馬郡町4336番地 TEL　FAX　053（592）7510 E-Mail　youkoso@toukai-doboku.com
事業活動の内容	総合建設業及びコンクリートブロック等の販売 ・静岡県知事許可（特-4）第1758号 土木　とび・土工　石　舗装　しゅんせつ　水道施設 解体　工事業 ・静岡県知事許可（般-4）第1758号 建築　工事業
環境管理責任者及び連絡担当者	環境管理責任者　小野　亮介 連絡担当者　藤田　智世

事業規模

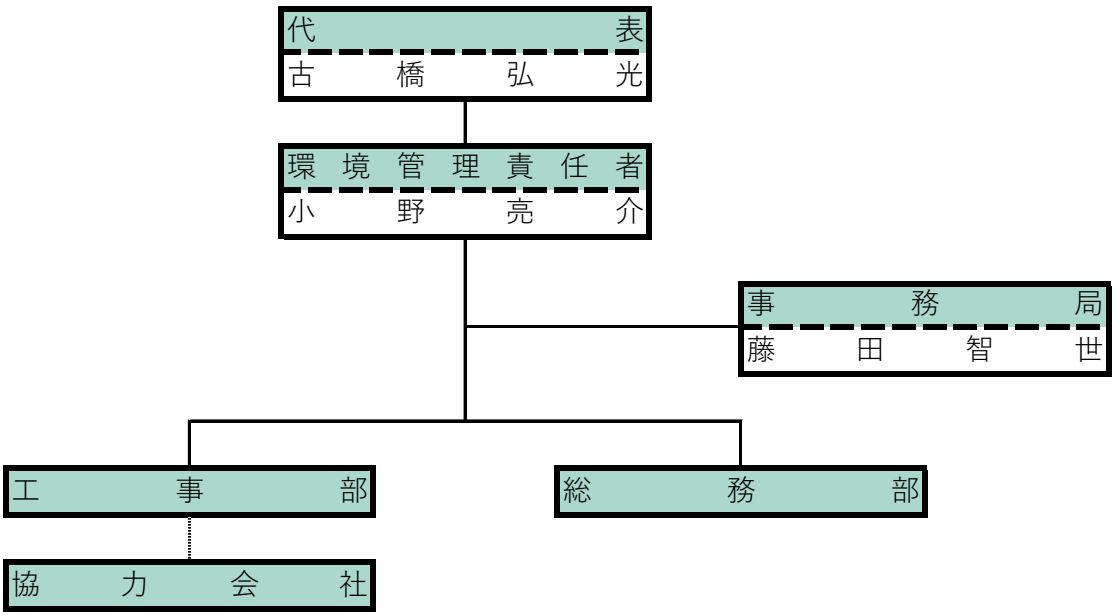
3年間の事業規模

活動規模	単位	2021.2-2022.1	2022.2-2023.1	2023.2-2024.1
工事等の件数	件	159	171	174
売上高	百万円	439.6	455.0	408.8
従業員	人	12.3	12.3	12.3
事務所床面積	m^2	115.9	115.9	115.9
倉庫・資材置場面積	m^2	1,042.8	1,042.8	1,042.8

対象範囲

全組織・全活動を認証・登録の対象範囲とする

実施体制図



担　当	役割・責任・権限
代　表	・代表責任者 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の制定、改定及び全社員への周知 ・資源（人材・設備・費用）の用意 ・全体の評価と見直しの実施
環境管理責任者	・環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑ全体の構築、運用、維持に関する実務上の権限を有する ・代表者への報告 ・環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑの構築、実施及び運用管理 ・事務局の文書作成案に対するﾁｪｯｸ及び改定の指示 ・環境上の緊急事態への準備及び対応 ・教育･訓練の実施
事務局	・環境目標及び環境活動計画書の取りまとめ ・環境経営レポートの作成 ・内部及び外部との環境コミュニケーションを図る ・環境関連法規の情報収集・管理 ・記録の作成及び維持管理 ・環境負荷、取組みの自己ﾁｪｯｸの実施
全社員・協力会社	・環境経営方針の理解 ・環境への取組みの重要性を自覚 ・環境負荷削減に対する積極的活動

項　　目		2023.2-2024.1			
		使用量		CO2排出量（Kg-CO2）	割合
エネルギー使用量	電力1　　中部電力	7,593.00	kwh	3,409.26	4.6%
	電力2		kwh		
	電力3		kwh		
	建設現場等の購入電力	43,811.00	kwh	19,671.14	26.9%
	電力4		kwh		
	電力5		kwh		
	ガソリン		L		
	建設現場等のガソリン	6,113.30	L	14,182.86	19.3%
	軽油		L		
	建設現場等の軽油	14,024.82	L	36,184.04	49.3%
	灯油		L		
	建設現場等の灯油		L		
	A重油		L		
	都市ガス		m3		
	液化石油ガス（LPG）		kg		
	GTL		L		
			kg		
	合計（エネルギー）			73,447.29	100%
一般廃棄物総排出量		1,246.00	kg		
産業廃棄物総排出量		1,216,313.00	kg		
	中間処理量		kg		
	うち再資源化量	1,130,079.80	kg		
	最終処分（埋立）量	20,531.00	kg		
	再資源化率	98.3%	kg		
産業廃棄物（特別管理）総排出量			kg		
	中間処理量		kg		
	うち再資源化量		kg		
	最終処分（埋立）量		kg		
	再資源化率		kg		
水使用量	上水	94.00	m3		
	工業用水		m3		
	地下水		m3		
化学物質使用量					

目　　標

・2022年度の実績値を基準※とし、前年度対比1.0％減。

・産業廃棄物については、排出量を前年度比1.0％減の目標と同時に、再資源化率アップ

※基準値は、2022年実績値に二酸化炭素排出係数の**0.449kg-CO2/kWh（2021年度）**を使用して算出。

項　　目		基準値	2023年度目標		2024年度目標		2025年度目標	
		2022年2月 ～ 2023年1月	2023年2月 ～ 2024年1月		2024年2月 ～ 2025年1月		2025年2月 ～ 2026年1月	
	単位	基準値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値
環境に優しい施工の推進		178,517.3	騒音・粉塵対策に心掛けて現場の施工をする。		騒音・粉塵対策に心掛けて現場の施工をする。		騒音・粉塵対策に心掛けて現場の施工をする。	
二酸化炭素排出量/売上	kg-CO2 /百万円	（売上） 455 392.3	-1.0%	388.4	-2.0%	384.5	-3.0%	380.5
二酸化炭素排出量 （合計）	kg-CO2	178,517.3	-1.0%	176,732.1	-2.0%	174,947.0	-3.0%	173,161.8
購入電力	kg-CO2	3,373.3	-1.0%	3,339.6	-2.0%	3,305.8	-3.0%	3,272.1
現場購入電力	kg-CO2	118,715.2	-1.0%	117,528.0	-2.0%	116,340.9	-3.0%	115,153.7
建設現場ガソリン	kg-CO2	19,820.7	-1.0%	19,622.5	-2.0%	19,424.3	-3.0%	19,226.1
建設現場軽油	kg-CO2	36,608.1	-1.0%	36,242.0	-2.0%	35,875.9	-3.0%	35,509.9
一般廃棄物	t	1.066	-1.0%	1.055	-2.0%	1.045	-3.0%	1.034
産業廃棄物	t	1136.4	-1.0%	1125.0	-2.0%	1113.7	-3.0%	1102.3
再資源化率	%	99.0		99.0		99.5		99.5
水使用量	m3	107	-1.0%	105.9	-2.0%	104.9	-3.0%	103.8
グリーン購入等環境ラベル表示製品の購入		34	購入努力をする		購入努力をする		購入努力をする	

※1　二酸化炭素排出量を売り上げの割合として目標設定

6. 環境経営計画

取組み期間（2022年2月～2023年1月）

取組項目		担当	2023年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	2024年 12月	1月
環境に優しい施工の推進														
騒音・粉塵対策に心掛けて現場の施工をする。		小野	←											→
	遮音施設・建設機械の配置・作業時間帯に配慮する													
二酸化炭素排出量の削減														
購入電力	不要な場所での消灯	藤田	←											→
	作業中以外の場所での消灯	藤田	←											→
	使用時以外OA機器の電源を切る	藤田	←											→
	エアコンの設定温度の適正化	藤田	←											→
	節電表示の設置	藤田	←											→
燃料使用量	エコドライブの周知	小野	←											→
	アイドリングストップの励行	小野	←											→
	車内の整理・整頓をし重量の軽減化を図る	小野	←											→
	走行ルート、運搬計画の合理化	小野	←											→
	タイヤの空気圧チェックなど、車両整備の実施	小野	←											→
廃棄物排出量の削減														
一般廃棄物	コピーの再生紙利用	藤田	←											→
	電子媒体化によるペーパーレス	藤田	←											→
	事前確認による印刷ミスの防止	藤田	←											→
	ゴミの分別の徹底によりリサイクル資源の活用	藤田	←											→
	ダンボール・雑誌等のリサイクル	藤田	←											→
	リサイクル品の積極的な採用	藤田	←											→
産業廃棄物	無駄を無くし廃棄物の搬出を抑制	小野	←											→
	リサイクル・リユースを意識し、廃棄物の発生を抑える。	小野	←											→
	再生材使用の推奨	小野	←											→
総排水量の削減														
水使用量	漏水調査を定期的に実施	小野	←											→
	洗車時に節水に努める	小野	←											→
その他														
グリーン購入等環境製品購入の推進		藤田	←											→
地域貢献活動の実施(篠原東公園清掃及び整地工事)		小野											↔	
社会貢献活動の実施（浜松建設業協会主催）		小野						↔						

実施期間　2023年2月-2024年1月

◆実績は、2021年度二酸化炭素排出係数の0.449kg-CO2/kWhを使用して算出

実　　績									
項　目	単　位	2023年度目標値（2022年度基準の1%削減）	実績値（6か月経過）2023年2月-2023年7月			実績値（1年）2023年2月-2024年1月			
				対目標値	評価		対目標値	評価
環境にやさしい施工の推進		騒音・粉塵対策に心掛けて現場の施工をする。	騒音、粉塵対策に配慮した施工をした。		○	騒音、粉塵対策に配慮した施工をした。			○
二酸化炭素排出量割合	Kg-Co2/売上	388.4				180.0	-53.7%		○
総二酸化炭素排出量	kg-CO2	176,732.1	47,973.7	-73%	○	73,447.3	-58.4%		○
購入電力	kg-CO2	3,339.6	1,665.8	-50.1%	○	3,409.3	2.1%		×
現場購入電力	kg-CO2	117,528.0	18,803.7	-84.0%	○	19,671.1	-83.3%		○
建設現場ガソリン	kg-CO2	19,622.5	7,013.0	-64.3%	○	14,182.9	-27.7%		○
建設現場軽油	kg-CO2	36,242.0	20,491.3	-43.5%	○	36,184.0	-0.2%		○
一般廃棄物	t	1.055	0.614	-41.8%	○	1.246	18.1%		×
産業廃棄物	t	1,125.0	875.9	-22.1%	○	1216.3	8.1%		×
再資源化率	%	99.0	97.8			98.3	-0.7%		
水使用量	㎥	105.9	45.0	-57.5%	○	94.0	-11.2%		○
グリーン購入等環境ラベル表示製品の購入	件	購入努力をする。	購入に心掛けた。		○	購入に心掛けた。			○

評　　価

今年度は、総二酸化炭素排出量としては、目標の数値を大きく下回る結果となった。ウエルポイント施工による工事が前半で終了したため現場購入電力の発生が少なかったことによる。

未達成の項目については、それぞれ以下の理由が考えられる。

購入電気（事務所）については、夏季の発生量の増加が顕著なことから、今年度は猛暑のためエアコンの稼働率が増したためと思われる。

一般廃棄物については、昨年度処理しきれなかった書類を今年度処理したことで増えてしまったと考えられるが、事務所で発生する雑多な廃棄物についても常に分別・リサイクルに心掛け無駄の出ないように廃棄物の削減に努めたい。

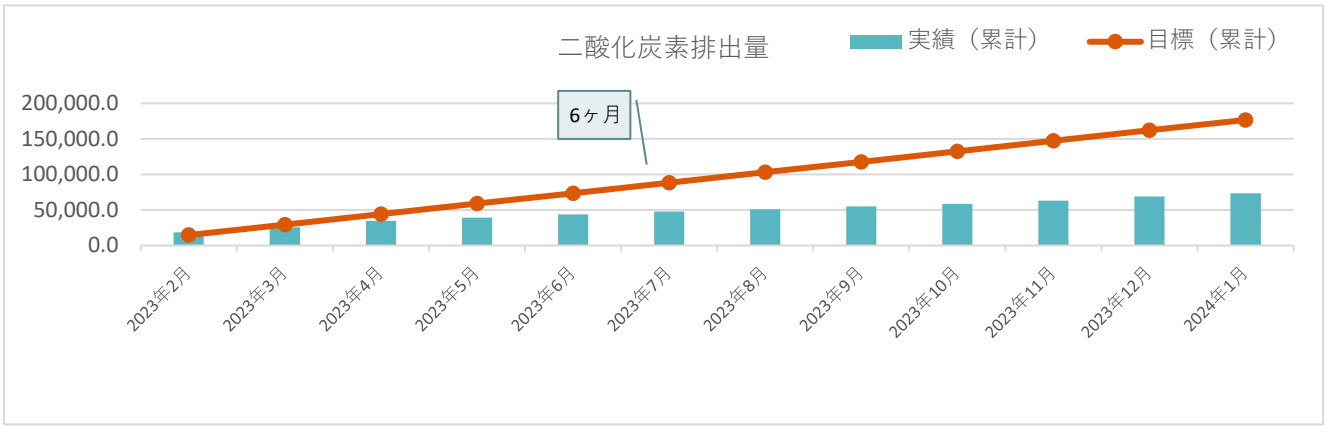
産業廃棄物は、河川護岸工事での既設コンクリート護岸撤去によるコンクリートガラの発生及び工場土間改修におけるコンクリートガラ・アスファルトガラの発生が主な要因と考えられる。その他にガーデンパーク解体工事により混合廃棄物の発生が例年以上に多く発生した。

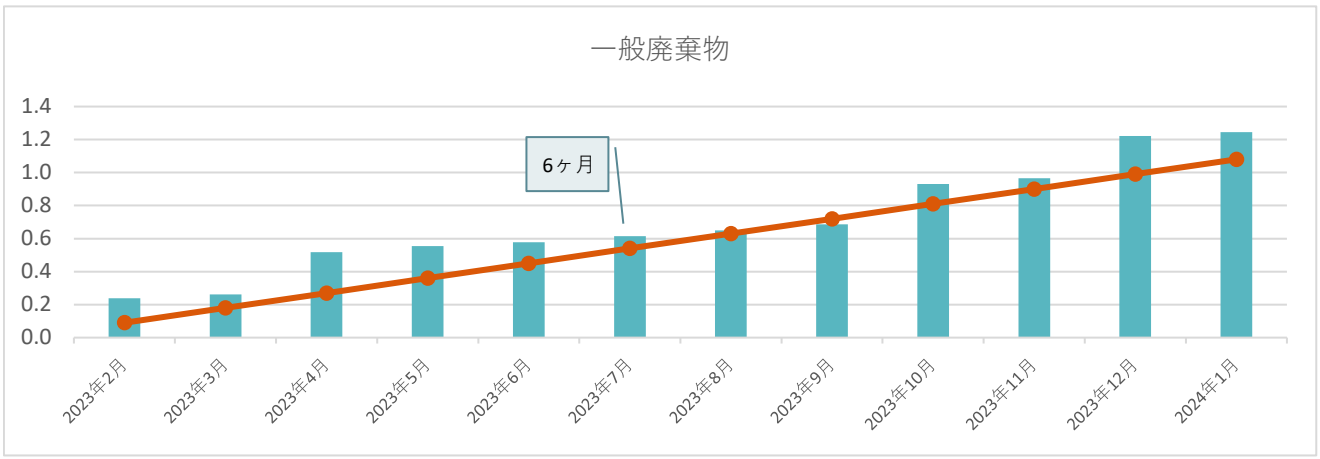
工事ごとに施工方法や工種が違うため通年での工事間での比較はしがたく、工事によっては産業廃棄物の発生はやむを得ないことではあるが、現場内において工程の見直しや施工方法を工夫するなど作業の効率化を図ることで全体として二酸化炭素排出量を削減できるよう努める。

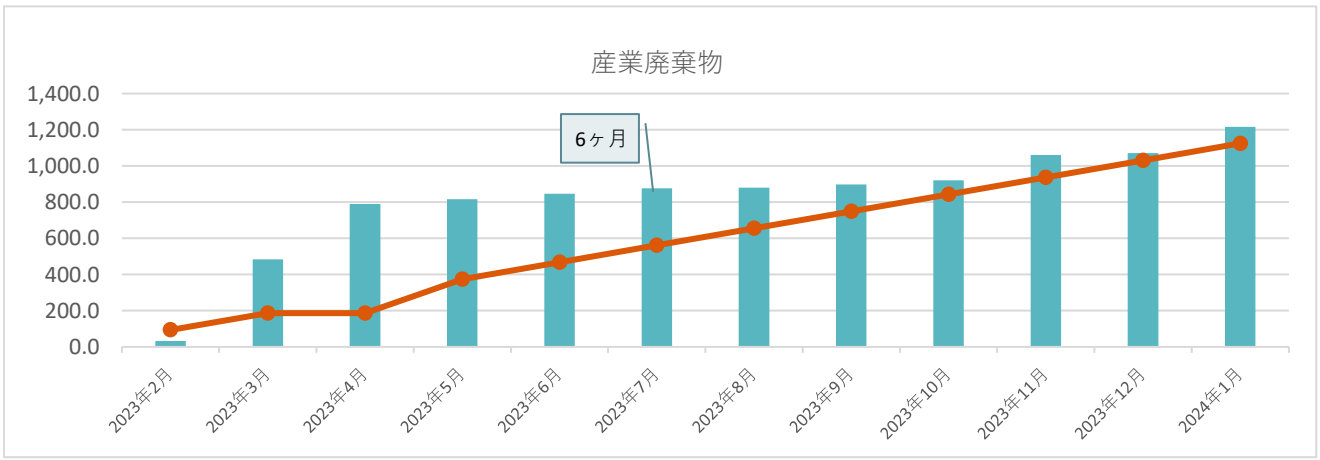
今期は昨年に引き続き、芳川の護岸工事において、地場産（天竜）の木材を使用した木製護岸工事（※1）を施工した。コンクリート護岸に比べてコスト削減になり、地場産を使用することで輸送によるCO2排出量の削減も図られ、環境に配慮した施工をすることが出来たと言える。

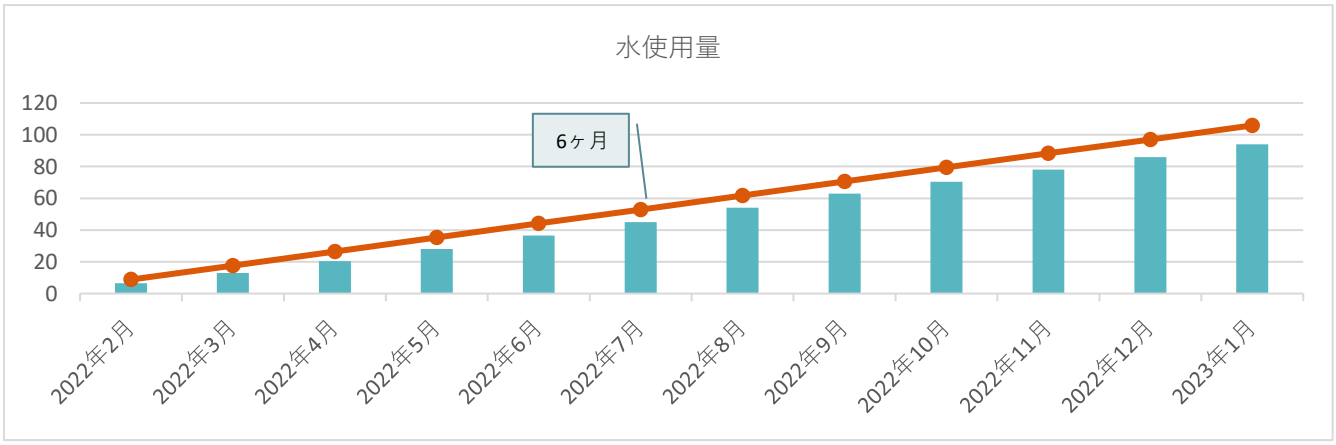
また、護岸工事では植生土のうを使用し環境保護を推進した（※2）。

※1、※2　項目7.環境経営目標の実績と評価　に記載


二酸化炭素排出量
実績（累計）
目標（累計）
6ヶ月
200,000.0
150,000.0
100,000.0
50,000.0
0.0
2023年2月
2023年3月
2023年4月
2023年5月
2023年6月
2023年7月
2023年8月
2023年9月
2023年10月
2023年11月
2023年12月
2024年1月


一般廃棄物
6ヶ月
1.4
1.2
1.0
0.8
0.6
0.4
0.2
0.0
2023年2月
2023年3月
2023年4月
2023年5月
2023年6月
2023年7月
2023年8月
2023年9月
2023年10月
2023年11月
2023年12月
2024年1月

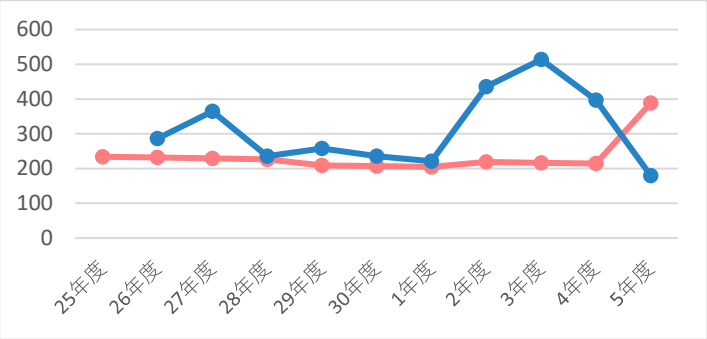

産業廃棄物
6ヶ月
1,400.0
1,200.0
1,000.0
800.0
600.0
400.0
200.0
0.0
2023年2月
2023年3月
2023年4月
2023年5月
2023年6月
2023年7月
2023年8月
2023年9月
2023年10月
2023年11月
2023年12月
2024年1月


水使用量
6ヶ月
120
100
80
60
40
20
0
2022年2月
2022年3月
2022年4月
2022年5月
2022年6月
2022年7月
2022年8月
2022年9月
2022年10月
2022年11月
2022年12月
2023年1月

過去の活動実績の推移

【二酸化炭素排出量割合】

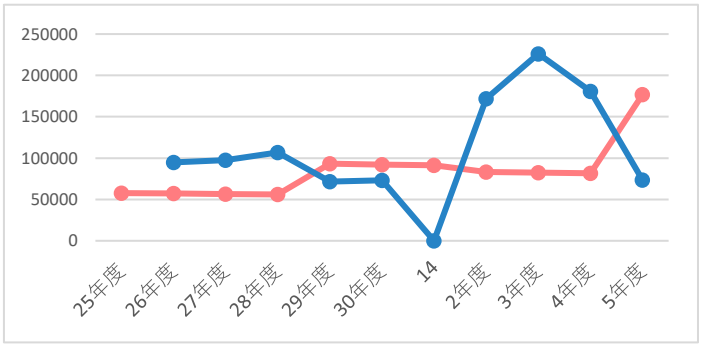
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
目標	234	231.7	229.3	227	209.1	207	204.9	218.8	216.6	214.4	388.4
実績		286	365	235.6	257.8	235.7	221	435.2	514	397.1	180



【二酸化炭素排出量】

（単位　kg-Co2）

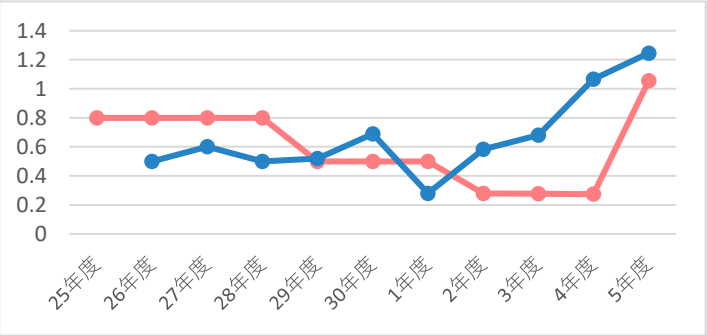
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	14	2年度	3年度	4年度	5年度
目標	57798	57220	56642	56064	93093	92152	91212	83358	82516	81674	176732
実績		94677	97520	106709.0	71679.9	73312.9	15.0	171918.9	226148.3	180692.6	73447.0



【一般廃棄物】

（単位　t）

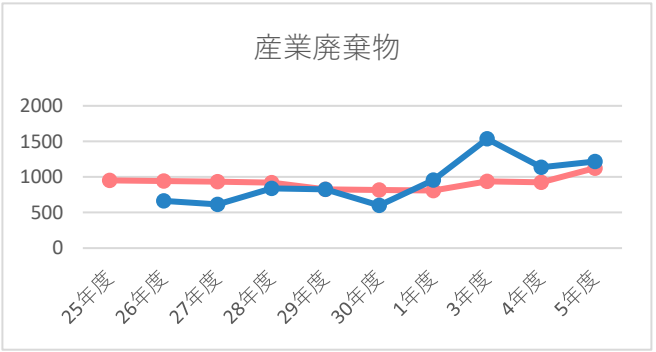
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
目標	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	0.5	0.5	0.279	0.276	0.274	1.055
実績		0.5	0.6	0.5	0.52	0.69	0.28	0.584	0.68	1.066	1.246



【産業廃棄物】

（単位　t）

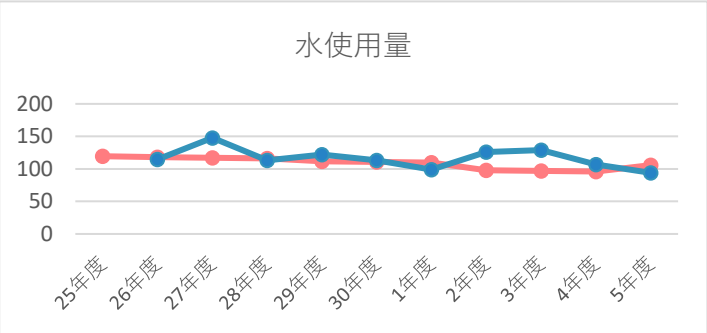
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	3年度	4年度	5年度
目標	951.1	941.6	932.1	922.6	826.6	818.2	809.9	936.6	927.1	1125
実績		665.4	616.2	839.4	825.3	599.7	955.8	1535	1136	1216



【水使用量】

（単位　m3）

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
目標	119.5	118.3	117.1	115.9	111.9	110.7	109.6	98	97	96	105.9
実績		114.5	147.8	113	122	113	99	126	129	107	94



8. 環境経営計画の取組と評価

取組み期間（2023年2月～2024年1月）

取組項目		担当	活動内容	評価	次年度への対応
環境にやさしい施工の推進					
	騒音、粉塵対策に心掛けて現場の施工をする。	小野	粉塵対策・建設機械の配置・作業時間帯に配慮する。（公共工事3件）	○	継続して実施
二酸化炭素排出量の削減					
購入電力	不要な場所での消灯	藤田	実行できた。	○	継続して実施
	作業中以外の場所での消灯	藤田	実行できた。	○	継続して実施
	使用時以外OA機器の電源を切る	藤田	実行できた。	○	継続して実施
	エアコンの設定温度の適正化	藤田	設定温度のこまめな管理	○	継続して実施
	節電表示の設置	藤田	実行できた。	○	継続して実施
燃料使用量	エコドライブの周知	小野	エコドライブの方法を掲示し広報に努めた。	○	朝礼等でも社員に喚起する。
	アイドリングストップの励行	小野	各車両に表示。事務所にｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ機能搭載車を採用	○	継続して実施
	車内の整理・整頓をし重量の軽減化を図る	小野	月1回の点検整備時に担当車両をチェックする。	○	継続して実施
	走行ルート、運搬計画の合理化	小野	現場ごとに確認した。	○	夕礼時に運搬計画の確認を行う。
	タイヤの空気圧チェックなど、車両整備の実施	小野	月1回点検整備を行った。	○	継続して実施
廃棄物排出量の削減					
一般廃棄物	コピーの再生紙利用	藤田	再生可能紙用の置場を設けた。	○	継続して実施
	電子媒体化によるペーパーレス	藤田	データを電子化しドロップボックスにて共有する。	△	ペーパーレス化に努める。電子納品の推進。
	事前確認による印刷ミスの防止	藤田	確認に努めた。	△	事前確認を習慣化する。
	ゴミの分別の徹底によりリサイクル資源の活用	藤田	表示の継続 ｼｭﾚｯﾀﾞｰｺﾞﾐをﾘｻｲｸﾙ業者に持込	○	継続して実施
	ダンボール・雑誌等のリサイクル	藤田	実行できた。	○	継続して実施
	リサイクル品の積極的な採用	藤田	再生品で代用できるものを利用した。	○	継続して実施
産業廃棄物	無駄を無くし廃棄物の搬出を抑制	小野	廃棄物の排出を抑えるよう努力した。	○	継続して実施
	リサイクル・リユースを意識し、廃棄物の発生を抑える。	小野	リサイクル・リユースを意識した。	○	継続して実施
	再生材使用の推奨	小野	見積もり時に提言した。	△	継続して実施
総排水量の削減					
水使用量	漏水調査を定期的に実施	小野	実行した。	○	継続して実施
	洗車時に節水に努める	小野	まとめて洗車するなど、節水に努めた。	○	継続して実施
その他					
グリーン購入等環境製品購入の推進		藤田	グリーンマーク表示の製品を優先して購入した。	○	継続して実施
地域貢献活動の実施(篠原東公園清掃及び整地工事)		小野	2023年12月28日実施	○	継続して実施
社会貢献活動の実施（浜松建設業協会主催）		小野	2023年8月実施	○	継続して実施

○：全員で取り組めた　△：1部の社員しか取り組めなかった　×：取り組めなかった

地球に優しい施工の推進

《地場産木材を使用した施工》

《植生土のう採用》

14

二酸化炭素排出量の削減

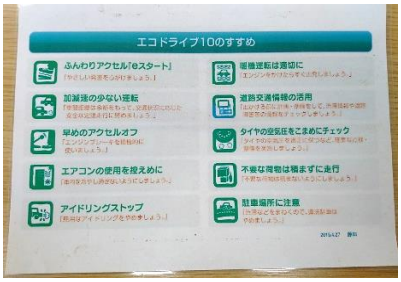
15

《 エアコン設定温度の適正化 》

《 ｻｰｷｭﾚｰﾀｰの活用 》

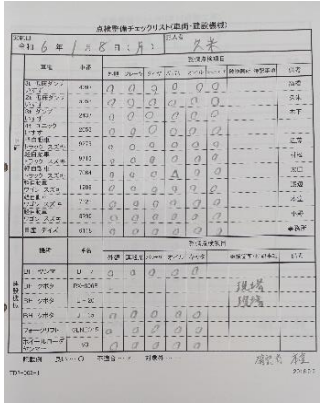
《 節電表示 》

《 エコドライブの周知 》



《 ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ搭載車の採用 》

車両点検整備の実施



産業廃棄物の削減

《 再生紙利用 》

《 段ボール･雑誌のﾘｻｲｸﾙ 》

《 産業廃棄物の削減 》

《 ゴミ分別の徹底 》

総排水量の削減

《 節水 》

その他

《ｸﾞﾘｰﾝﾗﾍﾞﾙ商品の購入》

《地域貢献活動　2023.12.28》

【 法規・法令 】

環境関連法規の名称	条文		規制概要	規制の詳細	規制の適用	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	第３条		事業者の責務	廃棄物の適正処理、施策協力	産業廃棄物搬出時	○
	第11条		産業廃棄物処理	事業者の責任で自ら処理		○
	第14条		産業廃棄物収集運搬	産業廃棄物収集運搬許可		○
	第15条		産業廃棄物保管	飛散、流出、地下浸透の防止 保管場所に掲示板（60㎝以上）		○
	第14条	「建設廃棄物処理委託契約書」による	産業廃棄物委託基準	運搬、処分許可業者との委託契約		○
				契約書に許可証の写しを添付		○
				契約書に5年間保管（終了日より）		○
	第8条の20項及び第6項		産業廃棄物廃棄物管理票	管理票（ﾏﾆﾌｪｽﾄ）の交付 B2票を１０日以内に受領		○
	第12条の3第2項及び第6項		交付等状況報告	D票を90日、E票を180日以内に回収 管理票の写しを5年間保存		○
	第12条第9、10項		産業廃棄物多量排出事業者の処理計画及び実施報告書	6月30日までに許可権者に報告（前年度発生量が100ﾄﾝ超のとき）		○
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	第9条、第13条、第16条		解体工事-80㎡以上 新築・増築工事-500㎡以上 その他の工作物に関する工事（土木工事等－500万円以上）	発注者に工事計画等を説明し工事着手7日前までに市長に届出書を提出	工事着手前	○
特定家庭用機器際商品化法（家電リサイクル法）	第6条、第9条、第18条		家庭用特定電気機器のﾘｻｲｸﾙ	指定業者への適正処分		○
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律（小型家電リサイクル法）			使用積み小型電子機器等の再資源化	指定業者への適正処分		○
使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	第73条		自動車のリサイクル	指定業者への適正処分		○
資源の有効な利用の促進に関する法律（改正リサイクル法）	第4条	資源有効利用促進法再生資源利用省令	指定副産物の再生資源利用促進	再生資源利用計画の作成、実施記録の保存（1年間）	再生資源の利用	○
		建設副産物適正処理推進要綱		再生資源利用促進計画の作成、実施記録の保存(1年)		○
騒音規制法	第14条第１項及び第2項		工事着手7日前までに都道府県知事（市町村長）に届出書を提出		工事着手前	該当なし
	第15条	静岡県告示第334号の5 浜松市告示第334号	特定建設作業の規制基準の遵守義務		工事着手中	該当なし
振動規制法	第14条第１項及び第2項		工事着手7日前までに都道府県知事（市町村長）に届出書を提出		工事着手前	該当なし
	第15条	静岡県告示第334号の8 浜松市告示第335号	特定建設作業の規制基準の遵守		工事着手中	該当なし
悪臭防止法	第７条	静岡県告示第772号 浜松市告示第465号	規制基準の遵守義務			○
浄化槽法	第8条、第9条、第10条、第7条、第11条		浄化槽の設置、保守点検、清掃及び水質検査についての規定			○
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（オフロード法）	第4条、第17条		使用の規制	排出ガス対策型建設機械・低燃費車の使用		○
フロン排出抑制法	第5条、第16条の1		出力7.5ｋW未満	機器の簡易点検	家庭用のみに付適用外	

【 条例 】

環境関連条例の名称	条文		規制概要	規制の詳細	規制の適用	遵守評価
静岡県環境基本条例	第1条～3条　第6条、第7条		事業者の責務			○
静岡県生活環境の保全等に関する条例	第71条第1項及び第2項		工事着手7日前までに都道府県知事（市町村長）に届出書を提出		工事着手前	○
	第52条	静岡県告示第334号の5 浜松市告示第334号	特定建設作業の規制基準遵守義務		工事着手中	○
	第88条第1項及び第2項		工事着手7日前までに都道府県知事（市町村長）に届出書を提出		工事着手前	○
	第79条	静岡県告示第334号の8 浜松市告示第335号	特定建設作業の規制基準の遵守義務		工事着手中	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第4条、第5条、第10条		廃棄物の実地の確認等	年1回実地　記録は5年間保管		○
浜松市廃棄物の適正な処理に関する条例	第4条、第10条、第11条		廃棄物の実地の確認等			○
浜松市産業廃棄物処理及び清掃に関する規則	第28条		産業廃棄物運搬実績報告		毎年６月末	○
	第29条		産業廃棄物処分実績報告		毎年６月末	○
浜松市環境基本条例	第6条		事業者の責務			○
【その他　参考条例】						
浜松市音・かおり・光環境創造条例	第1条、第4条、第8条、第9条、第12条、第13条		事業者の責務			○
浜松市川や湖をきれいにする条例	第15条		下水道事業計画区域及び農業集落排水処理区域以外の区域における排水の処理	合併処理浄化槽の設置 浄化槽の適正管理		○

＜遵法評価結果コメント等＞

	結果（コメント）	遵守状況確認日	確認者
環境関連法規等の遵守状況	当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。	2024年2月16日	小野　亮介
指摘・訴訟の有無	当社が関係する公共及び民間機関からの訴訟、指摘事項等はありませんでした。		

作成　　2024年2月27日

1.見直し関連情報

	項　目	確認	（必要に応じて評価・コメント記載）
1	環境経営システム	☑	問題なし。
2	環境経営目標の達成状況及び活動計画	☑	引き続き目標達成に努める。
3	環境経営計画の実施状況及び運用結果	☑	継続して実施する。
4	環境関連法規及び遵守状況	☑	問題なし。
5	外部からの苦情・要望	☑	環境コミュニケーション記録票にて1件確認。
6	問題点の是正・予防処置の実施状況	☑	是正/予防処置報告書にて1件確認。
8	その他（　　）	☑	特になし。

2.代表者による全体評価・見直し指示

昨年続き河川工事において木製護岸工や植生工などの施工に携わった。環境経営実績の評価にもある通り、地場産の材料を使用することによる二酸化炭素排出量の削減及び木材を使用したことで環境保護・生態系の維持など自然環境貢保全に貢献出来たことを実感する。

工事を施工する以上環境への悪影響は避けようのないことではあるが、社会において環境保護への関心の高まる中、環境保全に配慮した施工は必要不可欠であると考える。

今後は環境負荷軽減に引き続き取り組みながら、環境保全への積極的な関与を図っていきたい。

2024年2月28日

代表取締役　古橋　弘光

	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境方針	有・(無)	
2	環境目標	有・(無)	
3	環境活動計画	有・(無)	
4	環境に関する組織	有・(無)	
5	その他のシステム要素	有・(無)	
6	その他（外部への対応）	有・(無)	